平成30年度
安全農産物生産学コース
卒業論文発表会プログラム

日　　時：2019年2月20日(水) 8:30～17：10

会　　場：301講義室

発表時間：10分　発表8分・質疑2分　(1鈴7分、2鈴8分、3鈴9分30秒)

※発表セクション中の会場への入退出はできません。

時間	セクション	発表番号		発表者	分野	発表題目
8：30～	開　会					
8：35～	第1セクション	101	15610010	天野　瑠佳	畜産	飼料用米の低コスト生産を目的とした乾燥調製経費削減技術の検討
8：45～		102	15610012	伊坂　有喜	観賞	啓翁桜切枝の高品質化とアーモンドの切枝促成に関する研究
8：55～		103	15610016	怡田　美瑞樹	畜産	卵用鶏における高タンパク米と柿皮の給与が産卵と卵質に与える影響
9：05～		104	15610023	後村　梓央理	果樹	山形県在来マクワウリ「シマウリ」の生育および果実特性に関する基礎研究
9：15～		105	15610027	浦﨑　純平	作物	水稲に対する基肥一発体系における可変基肥施肥とスラグ施用効果
9：25～		106	15610029	江連　穣	畜産	低βカロテンWCS用イネ新系統の寒冷地水田における適応性の検討
9：35～	休　憩(10分)					
9：45～	第2セクション	107	15610032	遠藤　直哉	栽土	稈長の異なる水稲２品種における重窒素を用いた追肥窒素吸収に関する検討
9：55～		108	15610033	遠藤　祐	作物	水稲における塩分付着害軽減のための品種選抜法の検討とそれを用いた品種開発
10：05～		109	15610040	岡村　一輝	栽土	移植前水管理が水田の窒素動態に与える影響
10：15～		110	15610045	河角　さや夏	観賞	発芽直後の植物成長調節物質および施肥処理がササリンドウの分枝に及ぼす影響
10：25～		111	15610047	河村　拓真	観賞	ミニシクラメンの異なる生育段階における施肥の効果
10：35～		112	15610050	木田　理紗子	病理	バラ病害に対する電解次亜塩素酸水の処理方法と防除効果の検討
10：45～	休　憩(10分)					
10：55～	第3セクション	113	15610052	草野　琢磨	作物	画像解析による地力窒素の評価について
11：05～		114	15610057	倉石　好	畜産	飼料用玄米および規格外落花生の給与がブロイラーの肉質に及ぼす影響
11：15～		115	15610059	黒岩　勇斗	機械	水田転換畑でのエダマメ直播栽培と人工知能（AI）によるエダマメ莢の検出に関する研究
11：25～		116	15610060	桑原　一樹	機械	人工知能（AI）を用いたベニバナ花弁収穫ロボットの開発
11：35～		117	15610062	小鹿　なつめ	果樹	常温通風乾燥機を利用した山形県在来カキのドライフルーツ の開発
11：45～		118	15610069	齋藤　柚香	畜産	山形大学発ウインナーソーセージの理化学特性と官能特性の解明
11：55～	昼　休　憩(1時間)					

時間	セクション	発表番号	発表者		分野	発表題目
12：55～	第4セクション	119	15610070	佐川　聖人	栽土	水稲栽培による年間の土壌環境の変化が施用有機物の分解に与える影響
13：05～		120	15610077	佐藤　晴菜	機械	水稲の代かき同時散播技術の確立
13：15～		121	15610080	里村　桃子	果樹	カキ‘次郎’における通常花ならびに遅れ花由来果実の発育と品質に関する研究
13：25～		122	15610085	清水　誠太	果樹	SSRマーカーを利用した自家他家混合受粉に由来するミツバアケビ後代の花粉親の推定
13：35～		123	15610086	清水　春希	果樹	山形県におけるオウトウの生産および加工利用に関する調査研究
13：45～		124	15610088	鈴木　晃太	作物	水稲栽培への植物燃焼灰（ヨシ、ススキ等）を用いた養分供給に関する研究
13：55～	休　　憩(10分)					
14：05～	第5セクション	125	15610092	鈴木　寛人	病理	ドローンを用いたイネいもち病被害度評価による適期防除技術の実証
14：15～		126	15610098	田島　知弦	畜産	庄内地域における子実利用を目的としたトウモロコシ品種の比較
14：25～		127	15610103	田村　七海	果樹	オウトウの果皮色に関わる転写因子*PavMyb10.1*の遺伝子型判別
14：35～		128	15610108	東海林　藍	栽土	地力活用型窒素管理の幼穂分化期追肥が水稲の乾物生産に与える影響
14：45～		129	15610109	徳橋　貴幸	栽土	飼料用米栽培における鶏ふん焼却灰のリン・カリ肥料代替効果
14：55～		130	15610111	内藤　尭	病理	イネ紋枯病の被害が収量・品質に及ぼす影響と発生予察
15：05～	休　　憩(10分)					
15：15～	第6セクション	131	15610115	中山　堅斗	作物	水稲の塩吸収害耐性系統におけるケイ酸の有無と塩濃度条件の違いが塩害軽減に及ぼす影響
15：25～		132	15610116	西﨑　滉典	野菜	葉果比がつやなし果の発生に及ぼす影響
15：35～		133	15610117	西野　瞭	畜産	自給飼料を活用した黒毛和種の繁殖牛と育成牛向け発酵TMRに関する研究
15：45～		134	15610120	新田　藍	野菜	ホルモン処理がトマトのつやなし果に及ぼす影響
15：55～		135	15610121	野尻　由美佳	病理	電解次亜塩素酸水およびケイ酸資材の複合処理がキュウリうどんこ病に及ぼす影響
16：05～	休　　憩(10分)					
16：15～	第7セクション	136	15610127	福田　拓己	動物	マルタニシの体サイズがアメリカザリガニによる捕食への脆弱性に及ぼす影響 ～苛烈な侵入生物と死に抗うタニシ～
16：25～		137	15610131	星　正紀	動物	マルタニシが生息環境の遷移と5種ミジンコの生活史特性に及ぼす影響 ―タニシから始まる生態系―
16：35～		138	15610154	渡部　真帆	病理	BMW（バクテリアミネラルウォーター）生物活性水による水稲栽培と病害防除効果
16：45～		139	15610159	武田　大樹	果樹	オウトウの培養花粉管内における自家不和合性関連タンパク質のユビキチン化の解析
16：55～		140	14610034	小口　祥平	作物	断根処理が水稲の収量に及ぼす影響
17：05～	閉　　会					